



大槻玄幹

名茂植字子第
號磐里玄澤長
子仙甚著侍醫
幕府天文書寫
有蘭書凡(文法)
西音發微等著
天保二年十二月十
三日發句五十三

平月五日出し廿九日有る百二葉紙
小紙を紙紙以て小弁の時
片紙を紙紙以て小弁の時
下分は細十子の中長十子
此評信はさかぬ家筋はさかぬ
しはさかぬ小長人十子府近
以分府十子さかぬしはさかぬ
徳具はさかぬさかぬ以分府無
遺感し主はさかぬあや
あやさかぬはさかぬあやさかぬ
馬車人、まかじ始トグ近一統格
別記さかぬさかぬさかぬ
三月廿四日十言也三十日
以能くさかぬ帰途信はさかぬ
大子別と惜中らさかぬさかぬ
二月下旬府京都
さかぬさかぬさかぬさかぬ
さかぬさかぬさかぬさかぬ
ハ海陸舟敷文さかぬさかぬ
交易物多しとさかぬさかぬ
茶昌外科道具也
さかぬさかぬさかぬさかぬ
さかぬさかぬさかぬさかぬ
石河、下辰諸屋始初目



石河、卜辰 諸侯 姑 初 日
行 多 有 日 先 色 其 部 公 義
ハ 日 子 也 言 中 一 七 日 滿 田 無
一 灰 少 心 心 乃 為 遊 入 月 一
有 一 遊 少 心 心 乃 為 遊 入 月 一
感 心 一 心 心 乃 為 遊 入 月 一
有 一 遊 少 心 心 乃 為 遊 入 月 一
後 西 房 乃 多 矣 友 乃 乃 乃 乃
矣 一 秋 以 一 心 心 乃 為 遊 入 月 一
一 云 年 才 一 心 心 乃 為 遊 入 月 一
乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃
中 一 心 心 乃 為 遊 入 月 一
三 月 始 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃
人 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃
痛 是 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃
病 中 推 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃
處 一 順 快 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃
在 一 心 心 乃 為 遊 入 月 一
乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃
並 物 同 類 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃
乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃
他 人 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃
乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃
乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃

地入の二邊居の事
中世の事ありしに
改めしる處に在る
ものありしに
し事華方より一人
ありし事有り借財
よりあるに上下
比知りしにその
中に入りし事有り
七八田七借財
比知りしにその
公金より十石の
ある事ありしに
君は給ふ事あり
一十しある事あり
これし事ありしに
石河より一石あり
公金より一石あり
ゆき諸官に
周旋しし事あり
ありし事ありしに
ゆき先年
民はありしに
ありし事ありしに
ありし事ありしに

民坑中... 批其... 不... 子... 責... 中... 十...

五月十八日

...

...

多... 自... 惡...

...

艾... 自... 抱... 陷...

...

杜... 獨... 家... 祗...

...

明治四十二年六月装

大槻文彦

